

よくある質問

<高校選び>

Q1. 定時制高校や通信制高校を卒業しても、全日制高校と卒業の資格は同じですか？

A1. 高校の卒業資格として、同じです。

Q2. 工業関係の大学に入るには工業高校がいいですか？

A2. 工業高校でなくても工業大学には行けます。工業高校や商業高校は卒業後就職（正社員）する人が多いです。大学に行く人は普通科高校の方が多いです。

Q3. 高校に入らなくても就職（正社員）はできますか？

A3. 中学校卒業では、就職（正社員）できる会社は限られ、非常に少ないです。ほとんどの仕事は高校卒業以上の資格が必要です。

Q4. 高校を選ぶ方法を教えてください。

A4.

- ・「自分の将来に役立つ勉強ができるか」「自分の学力にあっているか」「日本語などの支援体制が整っているか」などのことを考えて、高校を選ぶのがよいでしょう。
- ・先輩の話を聞いて参考にするのもよいと思います。
- ・自分が受検する可能性のある高校の説明会に参加したりして、高校を見学しましょう。
- ・願書を出した後、短時間で志願変更先（→Q7参照）を決めなければならないこともあるので、3つくらいの高校を選んでおきましょう。

Q5. 大学に行くにはどんな高校に行くのがいいですか？

A5.

・市販されている受検ガイドの本や、各高校のホームページ等で「主な進学先」を見て、その高校の卒業生がどんな大学に入っているかを参考にしてください。一般的に内申点や偏差値の高い高校は大学に行く人の割合が高いです。

※内申点とは、中学校の成績の合計です。2年生1教科5点×9教科+3年生1教科10点×9教科です。

合計すると135点が最高点となります。

※偏差値とは、高校を受検する人全体の成績を平均し、順位が真ん中の人の偏差値を50として算出します。

高校によって偏差値が違います。一番偏差値が高い高校が70台です。

Q6. 中学校の成績が良くありません。それでも行ける高校を教えてください。

A6.

・内申点の数値で行ける高校の目安がつかます。内申点が足りない人は学力検査や面接でよい点を取る必要があります。

・在県外国人等特別募集のほとんどの高校では中学校の成績（調査書の成績）は合否の判断材料にしません。

・クリエイティブスクールという、学力検査を行わない高校もあります。

・二次募集や、定時制高校の受検もあらかじめ考えておきましょう。

Q7. 志願変更はどんな時にしますか？

A7. 志願変更は、願書を提出した後、新聞発表の「志願状況」を見て、「募集人数」と「志願人数」を確認し、自分の実力とのバランスを考えて志願変更した方がいいか判断してください。判断するときは保護者や支援者、中学校の先生とよく相談してください。新聞発表から、志願変更の手続きをするまでには、あまり時間がありません。志願変更を有効に利用するには、願書を出す前からの心構えが必要です。

Q8. 志願変更をするときはどうすればいいですか？

A8. 志願変更をする場合は、保護者から中学校の先生に伝える必要があります。志願変更をする可能性がある場合は三者面談の時などに、必ず中学校の担任の先生に伝えておきましょう。

Q9. 中学校の先生から私立高校との併願を勧められています。併願した方がいいですか？

A9.

・どうしても行きたい公立高校があって、合格できるか難しい時に私立高校の併願を考えてください。ただし、私立高校に合格して公立高校に落ちた場合は、必ず、

合格した私立高校行かなければなりません。また、私立高校はお金がかかります。就学支援金により授業料は安くなっても、それ以外のお金がかかりますので、注意してください。

・併願しなくても、公立高校の二次募集や、定時制高校を受検することもできます。併願するかどうか決める前に、保護者とよく相談をしてください。

<特別募集>

Q10. 自分に在県外国人等特別募集の資格があるかわからない。

A10. ガイドブックの5ページで志願資格を確認してください。それでもわからないときは、神奈川県教育委員会（ガイドブック18ページに地図があります。）に問い合わせてください。

Q11. 海外に2年以上行っていたが、親は日本にいた場合、海外帰国生特別募集で受検できますか？

A11. 海外帰国生特別募集は、親が仕事などの事情により海外で生活しているときに、親と一緒に海外で生活していた人が対象なので、子ども一人で海外の学校で学んだ場合は留学扱いとなり、海外帰国生徒募集に該当しません。ただし、子ども一人で海外に行かなければならなかった事情がある場合は神奈川県教育委員会に相談してください。

Q12. パスポートをなくした時、古いパスポートが手元にない時、また、パスポートに出入国のスタンプがない時はどうすればいいですか？

A12. 日本の法務省で発行している「出入国記録」が必要です。法務省のホームページから申請して郵送してもらうことができます。ただし、1か月くらい時間がかかるので、早めに申請してください。

<転編入学>

Q13. 海外で高校1年を修了して日本に来た場合、高校の編入は可能ですか？

A13. 海外で高校1年相当を終えていれば、日本の高校への編入は可能ですが、編入できる学校と編入できる時期は決まっています。また、日本語が不十分な人は、日本語の支援が受けられなかったり、高校1年の勉強ができなくなったりするので、ガイドブックの18ページにある「転編入学情報センター」でよく相談してください。

<その他>

Q14. 勉強の方法がわかりません。教えてください。

A14. 一人で勉強するのが難しい人や、塾などで勉強するのが難しい人のために地

域学習教室がたくさんあります。無料のところも多いです。資料のところに「学習教室の一覧表」がありますので参考にしてください。

Q15. 部活動をやっていると面接が有利になりますか？

A15. 中学校の時に部活動を行っていて「県大会に参加した」とか「表彰された」といったことがすぐに面接で有利になることはありません。面接では、部活動でどのように頑張ってきたかを具体的に伝えることが大切です。

Q16. 英語で授業を受けることができる高校を教えてください。

A16. 神奈川県は公立高校で、すべての授業を英語で行う高校はありません。ただし、一部、英語の授業に力を入れている高校はあります。